記者発表資料

忘れない、水害への備え
～羽越水害50年～

羽越水害５０年行事　　平成２９年２月２４日

「JR 山形駅」から
巡回パネル展スタート！！

羽越水害から５０年となる今年、水害から命を守る防災をテーマとする巡回パネル展が始まります。
8 月 26 日南陽市文化会館で行われる羽越水害５０年行事まで、最上川上流流域２０市町を巡回します。
なお会場では、最上川にまつわる様々な話題を盛り込んだ「最上川カード」を配布します。
お近くを巡った際はぜひ足を運んでいただき、家族や友人と水防災を考えるきっかけにして下さい。

１．　オープニングイベント
　平成２９年３月４日（土）１１：００～（15 分程度）
　詳細は別紙次第のとおり

２．　巡回パネル展の日程
　別添チラシのとおり

３．　最上川カード発行
　記念すべき第１号は、「最上川」。
　表は歌川広重「六十余州名所図会　出羽　最上川月山遠望」。

４．　実施主体
　羽越水害５０年行事委員会
　国土交通省・山形県・山形市、米沢市、寒河江市、村山市、長井市、天童市、上山市、東根市、南陽市、西川町、山辺町、中山町、河北町、朝日町、大江町、高畠町、西川町、白鷹町、飯豊町、小国町　（一社）東北地域づくり協会、美しい山形・最上川フォーラム、NPO 法人最上川リバーツーリズムネットワーク

羽越水害５０年特設サイト
http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/river/uetsu50/

忘れない　水害への備え　検索

「水害から身を守る」出前講座！随時実施中！
地域の小さな集まりから、
学校・会議までどこでも参ります！

＜発表記者会：山形県政記者クラブ・米沢記者倶楽部＞

＜問い合わせ先＞	
事務局	：国土交通省　東北地方整備局 山形河川国道事務所調査第一課 山形市成沢西四丁目３－５（TEL　023-688-8933） 調査第一課長　小出（こいで）　博（ひろし）（内線351）
開催地代表	：山形市まちづくり推進部 河川道路整備課 山形市旅篭町二丁目３番25号（TEL　023-641-1212） 課長補佐　芦野（あしの）　知明（ともあき）

【巡回パネル展オープニングイベント】

■平成29年3月4日（土）

■JR山形駅自由通路

11：00　開会

主催者挨拶
◆東北地方整備局水災害予報センター長

実行委員会20市町代表挨拶
◆山形市長

羽越水害50年行事紹介
◆山形河川国道事務所調査第一課

山形市立大郷小学校活動紹介
◆山形市立大郷小学校校長

テープカット、記念写真
◆山形市立大郷小学校児童代表4名
◆山形市長
◆山形県県土整備部長
◆東北地方整備局水災害予報センター長
◆山形河川国道事務所長

11：15　閉会

命を守るということ…。

巡回パネル展

近年気候変動が激化し、災害の危険性が増加している。
今年は、最上川上流域を中心に甚大な被害をもたらした、
昭和42年8月の“羽越水害”から50年の節目を迎える。

羽越水害とは、どんな水害だったのか。
水害が起こったら、どうしたらいいのか。
自分の家は、大丈夫なのか。

羽越水害を振り返るとともに、水害への対応について、
写真や情報、水害に関する知識をまとめたパネル展を、
置賜、村山地域の市町ごとに実施します。

巡回パネル展　2017年 3 月～ 8 月

市町村	会　場	開催期間
山形市	JR山形駅(オープニング)	3月 4日(土)～3月 5日(日)
南陽市	南陽市役所	3月 6日(月)～3月10日(金)
高畠町	高畠町中央公民館	3月21日(月)～3月27日(月)
朝日町	朝日町エコミュージアム コアセンター創遊館	4月18日(火)～4月23日(日)
山辺町	山辺町保険福祉センター	4月25日(火)～4月28日(金)
白鷹町	白鷹町中央公民館	5月 2日(火)～5月 8日(月)
東根市	東根市役所長瀞公民館	5月10日(水)～5月15日(月)
天童市	天童最上川温泉ゆぴあ	5月17日(水)～5月21日(日)
山形市	山形市役所	5月23日(火)～5月26日(金)
飯豊町	町民の総合センター あ～す	5月31日(水)～6月 4日(日)
川西町	川西町フレンドリープラザ	6月 7日(水)～6月11日(日)
大江町	町民ふれあい会館	6月14日(水)～6月18日(日)
米沢市	よねざわ市民ギャラリー	6月20日(火)～6月25日(日)
河北町	河北町総合交流センター サハトべに花	6月27日(火)～7月 2日(日)
西川町	西川交流センター あいべ	7月 4日(火)～7月 9日(日)
長井市	道の駅　川のみなと長井	7月11日(火)～7月17日(月)
村山市	村山市総合文化交流施設 甑葉プラザ	7月19日(水)～7月23日(日)
上山市	上山市立図書館	7月25日(火)～7月31日(月)
中山町	中山町立図書館ほんわ館	8月 2日(水)～8月 6日(日)
寒河江市	道の駅　寒河江チェリーランド	8月 9日(水)～8月13日(日)
小国町	小国町役場	8月15日(火)～8月18日(金)
南陽市	南陽市文化会館(メイン会場)	8月22日(火)～8月26日(土)

主催：羽越水害50年行事実行委員会

国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所、国土交通省東北地方整備局最上川ダム統合管理事務所、国土交通省北陸地方整備局羽越河川国道事務所、国土交通省北陸地方整備局飯豊山系砂防事務所、気象庁山形地方気象台、山形県、山形市、米沢市、寒河江市、村山市、長井市、天童市、上山市、東根市、南陽市、西川町、山辺町、中山町、河北町、朝日町、大江町、高畠町、西川町、白鷹町、飯豊町、小国町、（一社）東北地域づくり協会、美しい山形・最上川フォーラム、NPO法人最上川リバーツーリズムネットワーク

各会場毎に
特製“最上川カード”を1種配布します！

- 羽越水害50年行事 -

羽越水害とは …

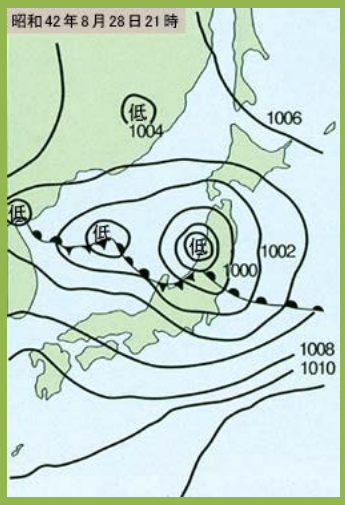
忘れない、水害への備え
～羽越水害50年～

降り続く激しい雨

昭和42年（1967年）8月28日未明、東西に延びる前線は東北地方南部から北陸地方能登半島の北を通り、日本海中部に停滞していた低気圧に達して、いわゆる梅雨末期の気圧配置となり、低気圧が東に進むにつれ、前線は北上し、その活動が活発になった。

このため、28日早朝から降り出した山形県中南部の雨は、前線の動きにつれ、28日夕刻から29日未明にかけて激しさを増し、飯豊・朝日山系を中心とする西置賜地方では未曾有（みぞう）の集中豪雨となった。

堤防を越える濁流（白鷹町鮎貝）



天気図（単位：hpa）

等雨量線図（単位：mm）

山形県史上空前の大被害をもたらした洪水

最上川上流地区は急激に水位が上昇し、白鷹町の本川左岸で溢水、各支川において堤防の決壊や氾濫が続出して置賜地方から村山地方にかけて、その被害は死者8人、負傷者137人、全半壊2,203戸、床上浸水4,120戸、床下浸水10,149戸、農地等への浸水13,179haに達した。

被害総額は約597億1,900万円※1におよび、県史上空前の大被害をもたらした。

※１：現代の貨幣価値に換算
（平成27年度換算推定値）

死者	8人
負傷者	137人
全半壊	2,203戸
床上浸水	4,120戸
床下浸水	10,149戸
農地・宅地等浸水	13,179ha （東京ディズニーランド&東京ディズニーシー約82コ分）

浸水被害（長井市歌丸）

- 羽越水害50年行事 -

最上川カード

表

もがみがわ
最上川

所　在　地：山形・福島県境の吾妻連峰～日本海
河　川　名：最上川水系最上川
延　　長：229km(全国7位)
流域面積：7,040km²
(全国9位、県土の約76%、13市17町3村)
河口川幅：380m
源　　流：火焔(ひのほ)の滝(米沢市)

「母なる川」最上川は、古くから経済・文化の大動脈であり、人々の暮らしに恵みを与える存在であったが、一方で、洪水や氾濫など人々の生活を脅かす水害の歴史も持つ。
昭和42年には未曾有の大水害が発生。この羽越水害を契機に、堤防整備が加速化、そしてダム・遊水地の整備へ。

トピックス　広重と最上川

江戸時代の浮世絵師・歌川広重は、全国の名所をまとめたシリーズの中で出羽国の最上川と月山を描いている。青のグラデーションで表現された最上川を多くの帆船が往来していて、当時の舟運の隆盛を知ることができる。船の大きさと月山の姿形からすると、河口の酒田方面からの眺めだろうか。
広重は、天童藩織田家の依頼による肉筆画「天童広重」や、山形城下を描いた「湯殿山道中略図」などを手がけていて、山形県との関わりは深い。

裏